



## 潮流

情報サービス部 宮崎 直孝  
MIYAZAKI NAOTAKA

皆様こんにちは。2年目の宮崎と申します。電子マニフェストに係る業務を進めております。

『分水界で行き着く先が変わる』『潮目が変わる』『貯蓄から投資へ』『試合の流れが変わる』『自然環境が変わる』『人事異動』『食が変わる』『スキンケアが変わる』『引越す』『出現するポケモンが変わる』『廃棄からリサイクルへ』。とかく変化は尽きません。『変化』を掴む、もしくは『変化』を起こすという事が巷では求められ、時折、忙しく感じます。一度、流行や基盤を作った人や組織が比較的強いのは、この変化を掴み次ぎの『流れ』を作ろうとするからだと感じる事が御座います。ただ、既知の通りでは御座いますが、一気にはやる気だけを出して変化を起こすことが功を奏さ

ず、時間をかける重要性がみえる事も御座います。米 Apple 社 CEO のティムクック氏が母校デューク大学でのスピーチの中で『情報保護の重要性』に触れておられました。『変化』の多い電子の世界、お客様と自分の周囲にいる方々への感謝を忘れず目の前の業務を急がずゆっくり時間をかけて学ぶ日々で御座います。

### 編集後記

JWセンターでは、電子マニフェストシステムの利便性向上を図りつつ普及促進を着実に進めるとともに、平成30年を「電子マニフェストデータ利活用元年」と位置づけ、収集される膨大なデータの有効な利活用方法を検討することとしています。

今号の特集企画では、建設業に携わっている排出事業者、処理業者の方々に今後の電子マニフェストの普及促進やマニフェスト情報の利活用等をテーマにご意見等をいただく座談会を開催したので、その模様をお伝えいたします。

また、「行政のうごき」では、岐阜県より廃棄物行政の取組みを紹介しております。「産廃クローズアップ」では、先端処理設備による再生処理自動ライン化を実現した(株)マルコー商会の取材内容を紹介しております。

ご多忙の中、記事をお寄せいただいた執筆者の皆様、取材や編集にご協力いただいた皆様、本誌を読んでもらった読者の皆様に心から感謝申し上げます。

(菅野)

■本誌に関する連絡先:総務広報室(e-mail:jigyoo@jwnet.or.jp)

〈アンケートへのご協力のお願い〉

より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ(以下のURL)に掲載しています。本誌に関するご意見。ご要望を是非、お聞かせください。

URL <http://www.jwnet.or.jp/publish/kikansi/index.html>

JWセンター情報(季刊)VOL.18 NO.2 発行日:2018年7月17日発行 発行人:関 荘一郎

発行所:公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階

TEL:03-5275-7111 FAX:03-5275-7112 <http://www.jwnet.or.jp/>

デザイン・印刷:株式会社文洋社